

1. 下地

アスファルト、コンクリート打設およびモルタル仕上げで作られた下地が設置に適しています。下地は完全硬化・乾燥、水平仕上げであり、清潔で接着に影響を与える可能性がある亀裂、埃がない状態でなければなりません。

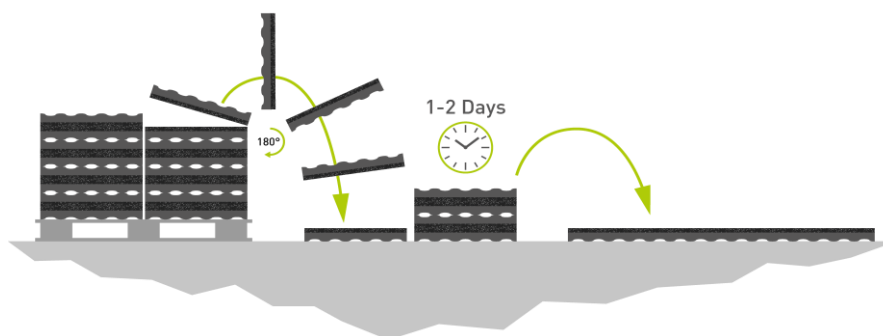
SPORTEC® base MS はしっかりと固定し不陸のひどい下地には設置しないでください。安定性と性能を確保するためにはしっかりとした下地が必要ですが、さらなる衝撃の軽減が必要な場合は、SPORTEC® team cup X 等の互換性のあるアンダーレイヤーを使用することができます。重量物を使用する場合は、事前に目的の荷重に対する下地の適合性を確認し、必要に応じて下地を準備してください。



平滑で敷設に適したモルタルの下地

2. 準備作業

下地の表面は、ほうき掛けをして全面を清潔にしてください。凹凸がある場合、タイルを敷設する前に補修材等を使い平坦にしてください。タイルをパレットから下ろし地面にゆっくりと寝かせます。そして、タイルの正しい順化を促すために、敷設する 1-2 日前に敷設場所に格納してください。順化させるため、タイルを 4-6 枚ごとにまとめて積んでください。この時、タイルの表面同士を合わせ、凸凹のある下層が上下に向くように積んでください。これはタイルの表面を汚れや傷から保護し、突き出た角部を補い合うためです。



SPORTEC® base MS タイルを敷設するための適正温度は 15-25°C です。チョーク等で基準のラインを引くとインストールしやすくなります。



基準ラインを作成し、この線に沿ってタイルを敷きます。

3. インストール

インストールを簡単にするために、チョーク等で基準となるラインを引くか、端や壁から敷設してください。必要に応じて、タイルを壁や部屋に対してきれいに敷設するために直線の基準ラインを作成してください。基準ラインまたは壁に沿って敷設するときは、タイルの間に隙間がなく、コネクタピンが前方になるように隣同士で配置します。



タイルを壁に沿って設置し、コネクタピンを正面に向けます。

カーブやカットが必要な場合は、タイルを必要な形状に切断してください。2列目はハーフタイルから敷設し、接続を確かなものにするために T 型に接続します。3列目は真物のタイルから敷設します。4列目はハーフタイル ...と交互にこの手順を繰り返します。コネクタピンでタイルを接続します。



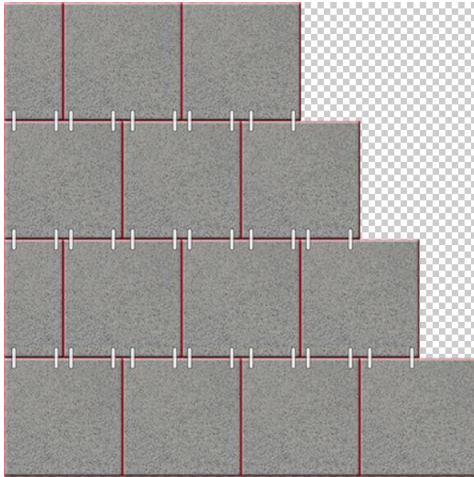
2列目はハーフタイル分ずらして敷き始めます。角のカッティングです。

インストール中に、タイルの間に隙間ができないように注意してください。隙間を閉じるにはゴムハンマーを使用し、タイル同士は真っ直ぐに並べてください。

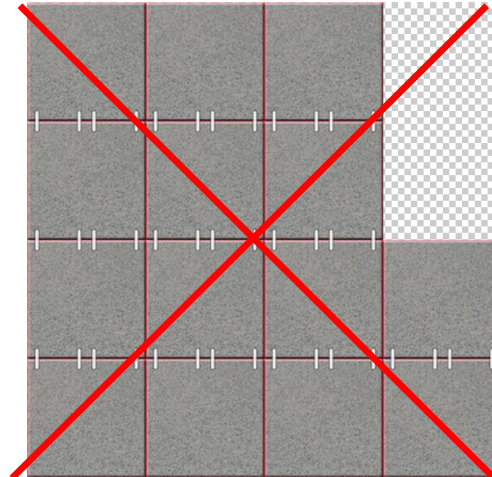


ハンマーで隙間を閉じます。

床材を接着した後、接着剤が完全に硬化する前に床材の表面をローラーで圧力をかけ、材料の下に閉じ込められた気泡を除去してください。



T 型接続での正しい取り付け



十字型接続での誤った取り付け

タイルの全表面は動かないように全方向から固定されなければなりません。タイルの端には SPORTEC® style edge & corner profiles か鉄の見切り材を取り付けてください。



SPORTEC® style edge & corner profiles 使用例



鉄製見切り材での固定。

4. コーティング

原則的に **SPORTEC® base MS** にコーティング剤を施すことは推奨されません。

5. 重要な詳細

タイルは、平らで乾燥した清潔な基盤にのみ設置することができます。敷設面はインストール後に直接 使用できます。可能であればタイルのコンディションを均一にするために同じタイミングでインストールしなければなりません。タイルはカッターで分割できます。必要に応じて、タイルを撤去して積み重ねたり、保管し直したりすることが可能です。タイルを再インストールする際、T 型接続で敷設する接続部に気を付けてください。

インストールに必要なツール:



グローブ



メジャー



カッター



墨出し器



ジグソー

免責事項:

アプリケーションとインストールに関するこれらの推奨事項は、当社の広範な経験と現在の技術的実践に基づいています。損害が発生した場合の当社の責任は、上記の推奨事項や、営業担当者からの声明や助言に関係なく、一般取引条件で定義された範囲に限定されます。

page 5 of 5